

令和5年12月19日	
所属	料金・ICT担当、デジタル推進課
所属長	玉井 健二郎、岡本 央
電話	06-6489-7406、06-6489-6202

生成AI利活用にかかるPoC実施について ～「探す」から「考動する」職員へ向けて～

本市では、庁内業務効率化に向けたDX取組みの一環として、生成AIの活用を検討中です。生成AIについては、「具体的に適応できる業務」や、「回答精度を上げるための手法」、「安全かつ効果的に利用するための環境・ルール」などの検討が必要であり、第一弾の取組みとして令和5年7月より、一般的な生成AIサービスを利用した実証を行って参りました。利用者アンケートでは、半数が効率化に寄与すると回答した一方で、業務の適応範囲をより具体化する必要があるという課題も再認識致しました。

これらを踏まえ、今般、第二弾の取組みとして、市の内部情報を学習させた生成AIにより、本市における具体的な業務効率化を実証すべく、以下の取組みを開始致します。なお、RAG (Retrieval-Augmented Generation: 検索拡張生成) を活用し、本格的な自治体独自の生成AIのPoC (概念実証) は全国の自治体において、ほぼ例のない取組みです。

1 趣旨目的

事務業務の様々なシーンで発生する、膨大な資料から情報検索などに掛る時間を短縮し、企画立案業務や市民対応などに集中できる環境づくりに向けて、検証結果から業務における作業を分類し生成AIの有効性を検証する。

具体的には、尼崎市の業務にかかる各種資料やデータ（庶務関係手引きや決裁、契約などに関する方針、セキュリティにかかる要綱など）を生成AIに読み込ませ、尼崎市のドキュメントのみを対象とした関連性の高い文章生成により、精度の高い質問応答による職員業務の効率化や生産性の向上などについて検証する。

2 概要

Microsoft が提供している Azure OpenAI Service (GPT-4/3.5 利用) を活用し、特定のデータベースに保管した尼崎市のドキュメントデータを参照し、尼崎市固有の回答を生成させようとするもの。これはユーザー（尼崎市職員）が入力したプロンプトに基づき、生成AIモデルが尼崎市固有のデータベースを検索し、得られた情報を基に回答を生成するものであるため、尼崎市固有の質問に対して、最適な回答を精度高く得られる可能性があり、その結果として生じ得る仕事の判断のスピード化といった業務効率性向上等の検証を行う。

○利用サービス

Azure AI Search (従来の会話型検索アプリケーションのユーザー所有コンテンツに対して、安全な情報取得を大規模に提供するもの)

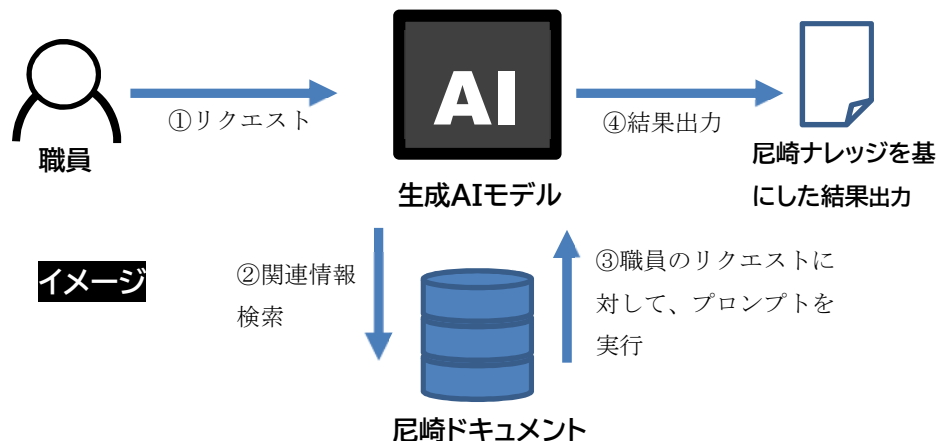
○利用対象者

尼崎市職員のみ

○対象データ

既に公開対象となっている業務用マニュアルなどを想定

※裏面へ



3 主な流れ

- I Azure OpenAI の GPT モデルを尼崎用に活用
- II 尼崎市の業務マニュアル、手引き、要綱などを読み込み
- III 職員が試験的に活用し精度確認
- IV 検証結果を踏まえて本格運用やユースケースの機能拡張等の検討

4 その他

○事業費

3,282 千円

○事業者

株式会社 SHIFT

○事業期間

令和5年12月下旬（契約締結時）～令和6年3月29日

以 上